

The Hawaii Japanese School

学 校 だ よ り (12)

(2014年7月26日)

事務所：947-3111 授業日：291-1591 <http://www.hjschl.org> e-mail info@hjschl.org

Rainbow for Japan Kids が行われます。

東日本大震災で被災した東北の岩手県、宮城県、福島県の3県から16名の中学生をハワイに招待し、勇気づけるとともに復興の支援を行ってきた「Rainbow for Japan Kids」という活動が、今回で8回目となりました。その活動の一環として、本年度より、8月2日(土)に University of Hawaii John A. Burns School of Medicine Medical Building に於きまして、13:00～15:00の予定で「Tohoku-Hawaii Future Summit」が始まります。

東北の中学生たちがハワイの中高生との交流をとおして、「将来にわたるまで、ずっと住みたくなる町づくり」について意見交換を行い、ふるさと再生への意欲が高めることを目的としています。そのサミットのハワイの代表チームの一つとして、本校の中学3年生から上田啓人さん、ホールスポッシュ健太朗さん、山本侃司さん、デモス綺菜さん、堀田楓さんの5名が参加します。彼らは、この日のために、夏休みの間も話し合いを続け、発表の準備をしてきました。当日も立派な発表をしてもらえることと信じています。また、彼らは、敢えて日本語での発表をしてくれようとしています。日頃の学習の成果が大いに発揮されことを期待しています。



Rainbow for Japan Kids に寄せて

思いやりのある
言葉は短く
簡単なのに
その反響は
実に無限
あり、

東日本大震災の後、日本でよく口にされた「絆」や「思いやり」。これらは、日本で古来より、大切にされてきた情緒であり、精神です。しかしながら、世の中は、核家族化が進み、情報化社会となり、電子機器によるコミュニケーションが増え、人間関係が希薄になってきています。人間関係が希薄になると、誤解が生じやすくなります。つまらない争いごとが起きやすくなります。各種の先端技術のおかげで便利になった現代、「絆」や「思いやり」といった精神を大切にしながら、上手に先端技術を活用していくことが重要だと思います。

ここハワイには、オハナの精神があります。ハワイ辞典で調べてみると、

「家族」という意味のハワイ語です。ここでいう家族は、一般的な家族よりも、もう少し広くて深い意味を持っています。古代ハワイでは、オハナは経済的にも精神的にも助け合う家族や親戚の集合体でした。分かち合いを大切にするオハナの精神をハワイの人たちはとても尊いものと思い、お互いに助け合うことを厭わない親しい友人や仲間のことをオハナと呼ぶことがあります。

まさに、これからグローバルな人材に成長していく子どもたちにとって大切にしてほしい精神です。「人間は一人では生きていけません。」だからこそ、「絆」、「思いやり」、「オハナ」の精神を大切に素晴らしい人間関係を構築して欲しいと願います。そのためには、まず、私たち大人が子どもたちに示していく必要があると感じています。

本校のホームページがリニューアルされました。

本校のホームページがリニューアルしました。スマートフォンやタブレットからもアクセスし易くなりました。各種お知らせや予定など大変見やすく、使い易いものとなりました。各種の情報も毎週、更新していく予定です。是非、ご活用ください。念のために www.hjschl.org です。